

明日をもっとおいしく

meiji

株主のみなさまへ

第3期 報告書

平成23年4月1日～平成24年3月31日



明治ホールディングス株式会社

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、当社は、経営統合から3年間の準備期間を経て、新たに飛躍していこうという時期を迎えたことを受け、新たな体制で臨むべく、代表取締役会長に佐藤尚忠、代表取締役社長に浅野茂太郎がそれぞれ新たに選任され、就任いたしましたので、まずもってご挨拶申し上げます。

さて、当社は、平成24年3月31日をもちまして、第3期事業年度を終了いたしましたので、ここに事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、東日本大震災からの復旧が徐々に進み、景気は緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州債務危機による海外景気の下振れ懸念やデフレの影響、長引く円高などにより、不透明な状況で推移しました。

こうした環境下、当社は平成23年4月1日付の事業再編により、傘下事業子会社を「株式会社 明治」、[Meiji Seika ファルマ株式会社]とする新たなグループ経営体制へ移行しました。

年間計画につきましては、大震災の被害とその後の影響を勘案して減収減益の計画としましたが、早期回復をより確実なものとするため、上期において「失地回復」と「地ならし」を進め、下期には震災前の「通常ベース」へ戻す計画内容とし、再編後の体制整備や強化等とあわせ、全力をあげて取り組みを進めてまいりました。

食品事業では、菓子・健康機能食品は早期に回復しほぼ例年並みの推移となりましたが、甚大な被害を受けた牛乳・ヨーグルトに加え流動食などが、下期以降順調にシェアを戻し概ね計画どおり回復したものの、上期中のダメージを補いきれず、全体では売上高・営業利益とも前期を下回りました。

医薬品事業では、医療用医薬品は、主力の抗菌薬、抗うつ薬の堅調に加え、新製品の投入もあり売上を拡大したジェネリック医薬品が好調に推移しました。生物産業は、新規農業投入などにより全体として好調に推移しました。その結果、売上高・営業利益とも前期を上回りました。

これらの結果、当期における連結売上高は前期比0.2%減の1兆1,092億75百万円、営業利益は前期比32.6%減の201億89百万円、経常利益は前期比28.1%減の218億82

百万円、当期純利益は、震災の影響などによる特別損失を計上した結果、前期比28.8%減の68億5百万円となりました。

当社グループを取り巻く市場環境は、長引くデフレ、不安定な原材料市場、東日本大震災による環境変化のなか、日本国内の少子・高齢化や人口減少による総需要の伸び悩みに加え、生活者のライフスタイルや価値観の多様化など大きく変化しており、ニーズを的確に捉えた商品開発や品質保証体制の重要性が高まっております。また、グローバル化の進展や新興市場の成長などにより、海外での事業拡大は、より一層重要な課題となっております。

こうしたなか、当社グループは、長期ビジョンである「明治グループ2020ビジョン」の「赤ちゃんからお年寄りまで、あらゆる年齢層のお客さまへ、食のおいしさ・楽しさや、心身両面での健康価値の提供を通して、お客さまの生活充実に貢献していく企業グループ」の実現に向けて、2012～2014年中期経営計画「TAKE OFF 14」を策定しました。

「TAKE OFF 14」では、グループ総合力の発揮により、既存事業の更なる成長、収益向上のための事業構造改革、新たな顧客価値創造、および海外事業展開を推進するとともに品質保証体制の充実やCSR経営の推進など、経営基盤の強化に向けて、より一層取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



明治ホールディングス株式会社
代表取締役会長 佐藤 尚忠



明治ホールディングス株式会社
代表取締役社長 浅野 茂太郎

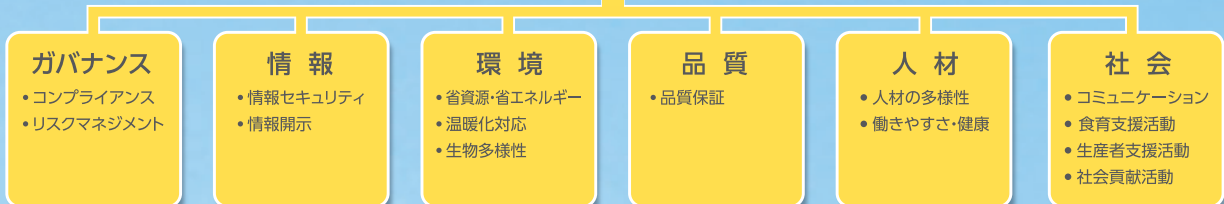
明治グループのCSR

明治グループは、日々グループ理念体系を実践し、あらゆる世代のみなさまに
私たちならではの「おいしさ・楽しさ・健康・安心」をお届けします。
そして、私たちを取りまくステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、社会の持続可能な発展に貢献します。



私たちの使命は、「おいしさ・楽しさ」の世界を拡げ、
「健康・安心」への期待に応えてゆくこと。
私たちの願いは、「お客さまの気持ち」に寄り添い、
日々の「生活充実」に貢献すること。
私たち明治グループは、「食と健康」のプロフェッショナルとして、
常に一歩先を行く価値を創り続けます。

CSRマネジメントの重点テーマ



明治グループ2014中期経営計画 **TAKE OFF 14**

明治グループは、平成26年度(2014年度)を最終年度とする中期経営計画「TAKE OFF 14」をスタートさせました。

「明治グループ2020ビジョン」で目指す企業グループ像の実現に向けてスタートを切ってまいります。

TAKE OFF 14 コンセプト

既存事業の更なる成長、収益向上のための事業構造改革の推進、新たな顧客価値創造の具体化、および海外事業展開の促進を図る。これらの実現に向けて戦略的な投資に取り組み、スタートを切る。

2014
中期経営計画

2017
中期経営計画

2020
ビジョン

目指す企業グループ像

赤ちゃんからお年寄りまで、あらゆる年齢層のお客さまへ、食のおいしさ・楽しさや、心身両面での健康価値の提供を通して、お客さまの生活充実に貢献していく企業グループ

TAKE OFF 14

成長戦略

[海外事業の拡大]

株式会社 明治

- ① ヨーグルト・プロバイオ分野で圧倒的優位を確立
- ② チョコレートを中心に商品力強化と市場の活性化
- ③ 成長著しい流動食分野での新規投資

Meiji Seika ファルマ株式会社

- ① 感染症、中枢神経系領域の事業拡大
- ② ジェネリック(GE)事業の拡大

[既存成長事業・優位事業の拡大]

[新規成長事業の育成・強化]

株式会社 明治

- ① 「健康な体づくり」を軸にした健康領域での価値創造
- ② 「楽しさの拡がり」による提供価値の拡大
- ③ 新たなビジネスモデルの推進

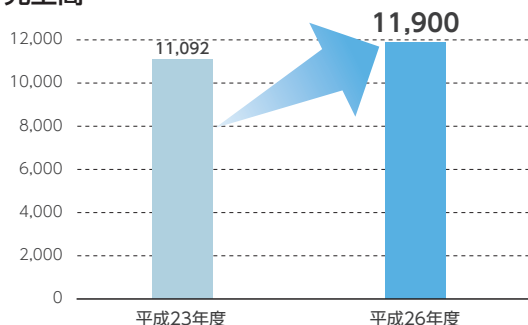
Meiji Seika ファルマ株式会社

- ① 第四の柱を目指した新領域への挑戦

数値目標

売上高

(単位:億円)



平成26年度計画

(単位:億円)

項目	明治ホールディングス		
		明治	Meiji seika ファルマ
売上高	11,900	10,500	1,400
営業利益	400	300	100
海外売上高	790	590	200

※海外売上高は海外子会社・関連会社の売上高に輸出額を加え、内部売上を消去した合算値

食品セグメント

(株式会社 明治)

乳製品事業

菓子事業

健康栄養事業

売上高

9,863億円

(前期比:0.3%減)

営業利益

114億円

(前期比:48.5%減)

※前期比は前期期首より新セグメントで実行したと仮定した場合の数値を用いて算出しております。

当セグメントでは、菓子および健康機能食品は早期に回復しほぼ例年並みの推移となりましたが、甚大な被害を受けた牛乳、ヨーグルト等市乳製品のほか流動食等が下期以降順調にシェアを戻し、概ね計画どおり回復したものの上期の影響が大きく、連結売上高は9,863億19百万円(前期比0.3%減)、営業利益は114億91百万円(前期比48.5%減)となりました。主な事業別概況は次のとおりです。

●乳製品事業(【市乳】牛乳類、ヨーグルト、飲料等 【乳食品】チーズ、バター、業務用乳製品等)

【市乳】

牛乳類は、震災直後より主力品を休売したことなどの影響を受け上期中は苦戦となりましたが、下期に入り回復しました。ヨーグルトも同じく下期以降順調に回復させ、通期では前期並みの実績を確保しました。本年1月以降、ヨーグルトの健康価値が各種メディアで報じられたことなどにより売上を拡大した「明治ヨーグルト R-1」も寄与しました。

【乳食品】

市販用ナチュラルチーズは、主力の「明治十勝カマンベールチーズ」が下期、順調に回復、また「明治ポーノチーズ」が販売地区の拡大が奏功し売上を伸ばしました。市販用マーガリン類は、昨年3月発売の「明治ヘルシーソフト オフスタイル」が好調に推移したこともあり、前期を上回りました。

●菓子事業(【菓子】チョコレート、ガム、キャンデー、輸入菓子等 【デザート】アイスクリーム、スイーツ等 【フードクリエイト】業務用(製菓・食材)等)

【菓子】

チョコレートは、ロングセラー商品の「アーモンドチョコレート」や積極的なブランド展開が奏功した「ガルボ」、「メルティーキッス」が前期を大幅に上回りました。一方、ガムは市場の落込みもあり「キシリッシュ」が前期を大幅に下回りました。

【デザート】

アイスクリームは、主力の「明治エッセルスーパーカップ」が前期を上回りました。また「明治チョコレートアイスクリームバー」、「明治ドレア」などの新商品を積極的に投入しました。さらに、本年3月にはアイスクリームとチョコレート共通の新ブランド「クリスピーズ」を立ち上げ、同時展開するなど、新たなニーズの取込みに努めております。

【フードクリエイト】

震災直後の影響を一部に受けたものの、製菓・食材とも積極的なビジネス展開により、順調に推移しました。

●健康栄養事業(【健康】スポーツ栄養、健康機能、食品、OTC等 【栄養】粉ミルク、流動食、病態食等)

【健康】

基礎美容食品の「アミノコラーゲン」や、ランニングブームを背景に「ザバス」が前期を上回りました。

【栄養】

流動食は上期において震災による厳しい制約を受けましたが、生産・供給能力の回復により前期並みの水準まで回復しました。粉ミルクは、母乳化促進や震災直後のまとめ買いの反動などによる需要減のなか、昨年12月の「明治ステップ」のお取替えの影響も加わり、前期を大幅に下回りました。



明治おいしい牛乳

明治ブルガリア
ヨーグルトLB81



明治プロビオ
ヨーグルトLG21



明治ヨーグルト
R-1ドリンクタイプ

明治北海道
十勝スマートチーズ



カルメ チーズあじ

ミルクチョコレート



明治北海道十勝
カマンベールチーズ



明治エッセル
スーパーカップ 超バニラ



アーモンドチョコ



明治チョコレート
アイスクリームバー



たけのこの里

明治メイバランスMini



明治ほほえみ
らくらくキューブ



アミノコラーゲン

ザバス
ホエイプロテイン100



医薬品セグメント

(Meiji Seika ファルマ株式会社)

医療用医薬品事業

生物産業事業(農薬・動物薬)

売上高

1,252億円
(前期比:0.9%増)

営業利益

81億円
(前期比:8.8%増)

※前期比は前期期首より新セグメントで実行したと仮定した場合の数値を用いて算出しております。

当セグメントでは、医療用医薬品は、主力の抗菌薬、抗うつ薬の堅調に加え、新製品の投入もあり売上を拡大したジェネリック医薬品が好調に推移、また生物産業事業においても新規の農薬が売上に寄与した結果、連結売上高は1,252億740万円(前期比0.9%増)、営業利益は81億8600万円(前期比8.8%増)となりました。

主な事業別概況は次のとおりです。

●医療用医薬品事業

抗菌薬では、「メイアクト」は前期並みの売上を維持、「オラベナム」は前期を上回りました。抗うつ薬では、「デプロメール」が後発品の発売影響などにより前期を下回りましたが、「リフレックス」は積極的な学術普及活動により大幅に前期を上回りました。ジェネリック医薬品は、カルシウム拮抗薬「アムロジピン錠 明治」が前期を大きく上回りました。加えて、昨年6月に発売したインスリン抵抗性改善剤「ピオグリタゾン MEEK」や、昨年11月に発売したアルツハイマー型認知症治療剤「ドネペジル 明治」も売上に寄与しました。なお、昨年9月には韓国・東亜製薬(株)と「バイオ後続品に関する戦略的提携契約」を締結するなど、将来の事業強化に向けたアライアンスにも積極的に取り組みました。

●生物産業事業(農薬・動物薬)

農薬は、主力のいもち病防除剤「オリゼメート」が前期を上回り、また昨年4月に発売した茅葉処理除草剤「ザクサ液剤」が寄与し、前期を上回りました。動物薬は、コンパニオンアニマル用薬の売上は伸長しましたが、家畜用薬および水産用薬が前期を下回り、全体として前期並みとなりました。

アムロジピン錠「明治」



リフレックス錠



デプロメール錠



ザクサ液剤



オリゼメート 粒剤



メイアクトMS錠・
メイアクトMS小児用細粒

パナメクテン
チュアブルP



点滴静注用バンコマイシン「MEEK」



オラベナム
小児用細粒

新製品のご紹介



明治いきいきセサミン

乳飲料タイプのおいしいセサミン。ごま800粒分のセサミンがギュッと凝縮されています。健康を感じるごま風味とほのかな甘味で、飲むのがきっと楽しみになります。また、不足しがちなカルシウムも配合しています。朝起きたら。お食事と一緒に。お風呂上がりに。いつでも気軽に。おいしく、健康的に、お召し上がりいただけます。



明治ブルガリアのむヨーグルト つぶつぶ果肉ストロベリー

爽やかな酸味と、飲みごたえのあるまろやかで濃厚感のあるヨーグルトに、つぶつぶ果肉をふんだんに加えた飲みきりサイズのストロベリー果肉入り飲むヨーグルトです。手軽でスマートに飲めるストロベリー飲用と、ゴクゴク手早く飲める直接飲用の2種類の飲み方に対応した新型容器を採用しています。



明治ふんわりムースソフト クリーミースムース

今まで味わったことのない「ふわふわ」新食感！ムースタイプなので、やわらかいパンにもかるく塗れ、ふんわり食感とロドけが楽しめます。やさしいミルクの風味と、ほどよい塩味のバランスの良い味わいです。北海道産生クリームを30%使用し、砂糖不使用です。当社独自の「リッチミックス製法」により、生クリームの素材本来の風味が生きています。



明治ボノチーズ 明治北海道十勝モツツアレラ 4本入

パッとあけたら本格生チーズ！クセが少なく、ほのかに甘いミルクーな風味と弾力のある食感が特長の北海道十勝産モツツアレラチーズです。食べ頃の大きな本格生チーズをスティック状の食べやすいサイズに切り出しました。



明治ヘルシーソフトオフスタイル キャノーラ脂肪分70%オフ

毎日の食事をおいしく味わいながら、余分なものはオフしていく。そんな、ヘルシーな食生活のスタイルを応援するスプレッド「明治ヘルシーソフトオフスタイルキャノーラ脂肪分70%オフ」です。当社独自の「ヘルシー&テイスティ製法」により、おいしさと脂肪分70%オフの両立を実現しました。



明治クリスピーズ チョコレート

ふんわりホイップしたクリーミーなホワイトチョコレートをまるやかなチョコレートでくるみ、サクサクのクリスピーな食感の焼き菓子でサンドしました。軽快なのにクリーミーな新しい味わいです。



ガルボキューブアーモンド

最初はカリッ、中からチョコがじゅわっと染み出るガルボキューブの新商品。芳醇な香りのアーモンドペーストと、とろけるチョコをカリカリパフに染み込ませ、上質でコクのあるおいしさが特長です。



キシリッシュガムディープミント

原料・製法にこだわった、味わい深い本格グリーンミントガムがキシリッシュブランドから新登場。新・味長持ちカプセルでおいしさと爽快感が長続きします。トリプルミントで濃厚なグリーン感が特長です。



明治クリスピーズ チョコ&バニラ

なめらかな舌ざわりのココのあるバニラアイスを、コーティングチョコレートで全面を包み込み、香ばしいウエハースでサンド。まるで冷たいチョコ菓子のよな感覚でおいしく食べられます！



銀座オムハヤシ 2個入

パイオンで炊き上げたバター風味ピラフに、薄切り牛肉と細切りたまねぎを使用して、煮込んだハヤシソースをかけ、ふんわりした卵をのせた電子レンジ調理専用の冷凍オムハヤシです。



スーパーヴァーム顆粒 10袋入

「運動で、体脂肪を燃やす」VAAMシリーズの最強版として人気のスーパーヴァームに、そのまま飲める“顆粒タイプ”が新登場。携帯に便利で水なしでも飲めるので、さまざまなスポーツシーンで活用いただけます。



アミノコラーゲン ポーテホワイト箱 84粒

明治が独自開発し、優れた吸収性を誇る「速攻型高吸収コラーゲン」に注目の新素材「アルガトリウム」を配合した新商品。L-シスチンやハトムギエキス、ビタミンC等の美容成分もぎゅっと凝縮。さらさら輝くホワイトパッケージと白艶のカプセルが輝く美しさをサポートします。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

	前期 (平成23年3月31日現在)	当期 (平成24年3月31日現在)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,759	14,662
受取手形及び売掛金	146,377	168,699
商品及び製品	72,654	77,292
仕掛品	1,895	2,240
原材料及び貯蔵品	30,601	32,480
繰延税金資産	15,138	13,051
その他	13,582	14,387
貸倒引当金	△333	△282
流動資産合計	301,676	322,531
固定資産		
有形固定資産	313,750	311,184
無形固定資産	9,726	8,040
投資その他の資産	91,215	108,228
固定資産合計	414,692	427,453
資産合計	716,368	749,985
負債の部		
流動負債	301,333	352,500
固定負債	121,504	98,994
負債合計	422,838	451,494
純資産の部		
株主資本	291,724	294,078
その他の包括利益累計額	△3,942	△2,488
少数株主持分	5,748	6,901
純資産合計	293,530	298,491
負債純資産合計	716,368	749,985

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

	前期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	当期 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
売上高	1,111,000	1,109,275
売上原価	732,931	738,500
売上総利益	378,068	370,774
販売費及び一般管理費	348,109	350,584
営業利益	29,959	20,189
営業外収益	7,713	7,078
営業外費用	7,222	5,386
経常利益	30,451	21,882
特別利益	1,799	685
特別損失	14,325	7,978
税金等調整前当期純利益	17,925	14,588
法人税等	8,339	7,537
少数株主損益調整前当期純利益	9,586	7,051
少数株主利益	34	245
当期純利益	9,552	6,805

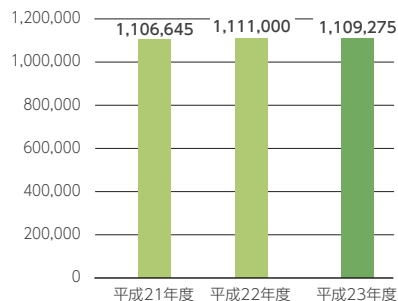
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

	前期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	当期 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,995	30,597
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,440	△44,314
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,570	4,861
現金及び現金同等物に係る換算差額	△325	△61
現金及び現金同等物の増減額	5,658	△8,916
現金及び現金同等物の期首残高	16,061	21,741
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	21	1,281
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	256
現金及び現金同等物の期末残高	21,741	14,363

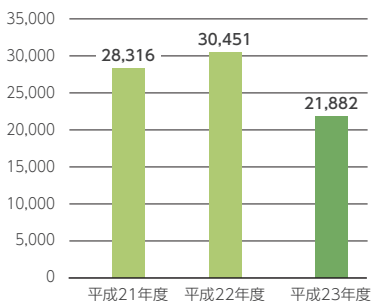
売上高

(単位：百万円)



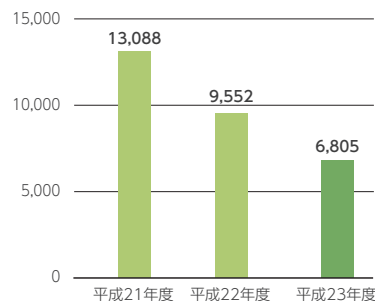
経常利益

(単位：百万円)



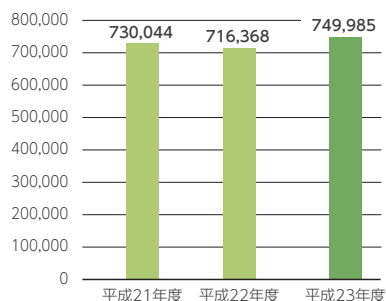
当期純利益

(単位：百万円)



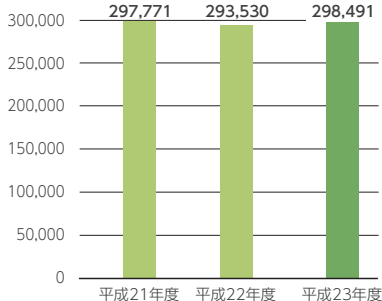
総資産

(単位：百万円)



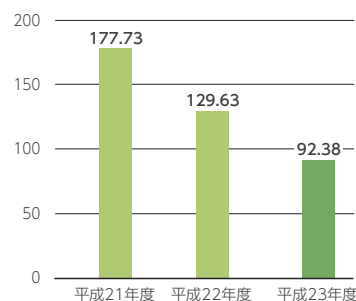
純資産

(単位：百万円)



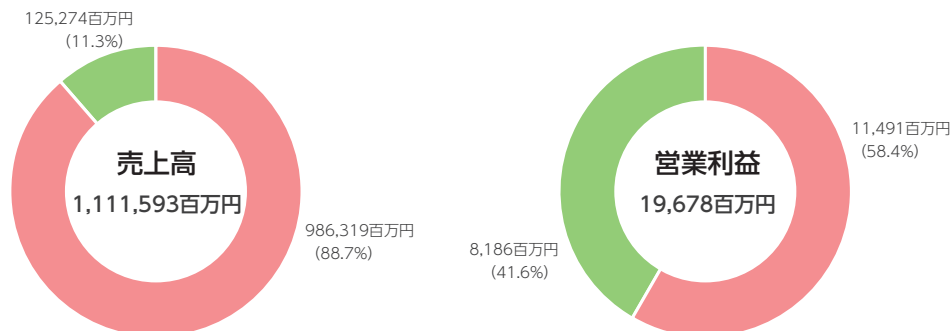
1株当たり当期純利益

(単位：円)



セグメント別構成比

■ 食品セグメント(株式会社 明治) ■ 医薬品セグメント(Meiji Seika ファルマ株式会社)



※セグメント別の売上高および営業利益は連結消去等調整前の金額を用いています。

TOPICS 1

100%チョコレートカフェ「東京スカイツリータウン・ソラマチ店」がオープンいたしました!

(株)明治のチョコレートをコンセプトにしたカフェ100%チョコレートカフェ「東京スカイツリータウン・ソラマチ店」が平成24年5月22日(火)、東京スカイツリータウン®内の複合商業施設「東京ソラマチ®」にオープンいたしました。

「100%チョコレートカフェ」は、チョコレートの新しい“おいしさ・楽しさ・夢”を体感していただくというコンセプトのもと、平成16年12月、東京・京橋に1号店が誕生いたしました。訪れるすべてのお客さまに、新鮮な驚きと感動を与えられる“チョコレート・ワンダーランド”を目指し、独自のメニューや商品の展開、お店づくりに努め、現在多くのチョコレートファンから愛されております。

同カフェの2号店となる「東京スカイツリータウン・ソラマチ店」では、従来のコンセプトにさらに磨きをかけて、より進化したチョコレート・エンターテインメントをお届けします。東京近郊はもとより、全国から訪れる観光客、さらには海外から訪れるツーリストのみなさまに、“TOKYO発世界”ブランドとして、さらなるチョコレートの魅力を感じていただけるようなユニークなショップを展開してまいります。また「東京スカイツリータウン・ソラマチ店」限定の商品も多数ご用意しております。

東京スカイツリーにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



TOPICS 2

10th
Anniversary

アミノ
コラーゲン®

キレイをお届けして
10周年!

キレイを求める多くの女性の支持を集め、幅広い年代の方から選ばれつつけている「アミノコラーゲン」が、今年で10周年を迎えました。

平成14年に発売して以来、味やにおい、溶けやすさなどさまざまな改良を重ねてきました。今年、さらに飲みやすくなるための新製法によるパウダーリニューアルや新CMをはじめとしたプロモーション展開により、さらに進化をし続けます。

発売当初は、「コラーゲンは塗るもの」というイメージが一般的で、飲む美容コラーゲン商品がほとんどありませんでした。その後、「飲むコラーゲン」の情報啓発を続け、「飲む美容コラーゲン」が多くの女性に認知されるようになりました。

飲むコラーゲン
売上No.1



アミノコラーゲン
(平成14年発売当初)



アミノコラーゲン 缶タイプ
(現行品)

飲むコラーゲン売上No.1 H・Bフーズマーケティング便覧
2012 No.1 No.2 合計((株)富士経済調べ)

TOPICS 3

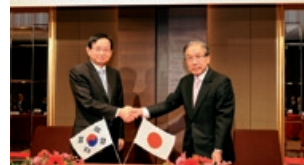


「ウデナフィル」
ライセンス契約締結

Meiji Seika ファルマ(株)は、昨年9月29日に韓国の東亜製薬(株)と前立腺肥大症治療薬「ウデナフィル」の日本における開発・商業化に関するライセンス契約を締結しました。「ウデナフィル」は、前立腺や膀胱などに作用することにより、前立腺肥大症に伴う残尿感や頻尿症状などのさまざまな自覚症状を改善すると考えられています。

「ウデナフィル」は、韓国などではED(勃起不全)治療薬として既に上市済みで、米国においてもワーナー・チルコット社が申請準備段階にあります。前立腺肥大症に関しても、米国では第2相臨床試験の開始段階にあります。日本では、本年より実施する第1相臨床試験に続き、第2相臨床試験を早期に開始する計画です。

Udenafil ライセンス契約 調印式



調印式で握手を交わす東亜製薬(株)金社長(左)と松尾社長(右)

会社概要

商号	明治ホールディングス株式会社 (英文名: Meiji Holdings Co., Ltd.)
事業内容	菓子、牛乳、乳製品、薬品等の製造、販売等を行う 子会社等の経営管理およびそれに付帯または関連する事業
本社所在地	東京都中央区京橋二丁目4番16号
代表取締役社長	佐藤 尚忠
設立	2009年4月1日
資本金	300億円

役員紹介 (平成24年6月28日現在)

代表取締役会長	佐藤 尚忠	
代表取締役社長	浅野 茂太郎	兼 (株)明治 取締役 兼 Meiji Seika ファルマ(株) 取締役
取締役常務執行役員	金子 秀定	
取締役常務執行役員	平原 高志	
取締役執行役員	左座 理郎	
取締役	松尾 正彦	兼 Meiji Seika ファルマ(株) 代表取締役社長
取締役	川村 和夫	兼 (株)明治 代表取締役社長
取締役(社外)	矢嶋 英敏	
取締役(社外)	佐貴 葉子	
監査役(常勤)	川島浩一郎	
監査役(常勤)	森島知夏男	
監査役(社外)	宮本 晶二	
監査役(社外)	山口 健一	

グループ会社

グループ全体	99社	連結子会社	53社
国内	69社	非連結子会社	30社
海外	30社	関連会社	16社

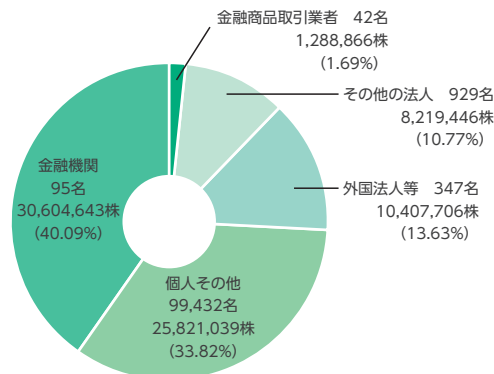
発行可能株式総数	280,000,000株
発行済株式の総数	76,341,700株
株主数	100,845名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社みずほ銀行	3,582	4.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,155	4.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,900	3.80
日本生命保険相互会社	2,642	3.46
明治ホールディングス従業員持株会	1,841	2.41
第一生命保険株式会社	1,616	2.12
株式会社りそな銀行	1,523	2.00
農林中央金庫	1,446	1.89
明治ホールディングス取引先持株会	1,303	1.71
東京海上日動火災保険株式会社	1,184	1.55

(注) 上記の他に、当社が2,675千株(持株比率3.50%)保有しております。

所有者別



事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 ※別途定める場合は、予め公告します。
定時株主総会	6月下旬
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.meiji.com/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 なお、会社法第440条第4項の規定により、決算公告は行いません。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承るとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記の連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いいたします。

株主さまへのご優待

1. 対象となる株主さま

毎年3月31日現在の明治ホールディングス株式100株以上ご所有の株主さま

2. ご優待の内容

ご所有株式数に応じて、以下のご優待品を毎年10月末頃にお届けいたします。

ご所有株式数	優待品	
100株以上	明治グループ製品詰合せ	2,000円相当
300株以上	明治グループ製品詰合せ	3,500円相当
500株以上	明治グループ製品詰合せ	5,000円相当

※株主さまのご意志により、優待品のご送付に代えて同等品を福祉団体等へご寄贈いただくことも選択できる株主優待品寄贈選択制度も設けております。



3,500円相当の優待品の例です。

ホームページのご紹介 <http://www.meiji.com/>

明治ホールディングス株式会社のホームページでは、企業情報をはじめ、研究開発、CSRの取組みやグループ各社の商品情報などさまざまな情報を掲載しております。

ブランドマークについて

【書体】

ふくよかで柔らかな書体、親しみのある小文字を使用することによって、「食と健康」の企業グループらしい明るさと、お客さま一人ひとりのあたたかいつながりを表現しました。「iji」の造形には、人びとが寄り添い支えあう姿を託しています。

【色】

ブランドカラーはレッド。躍動感や生命のよるこびを感じさせる色であり、人が生まれて最初に知る色でもあります。赤ちゃんからお年寄りまで、あらゆる世代の人びとのそばにあって、愛され続ける存在でありたいという思いを込めました。

明日をもっとおいしく

meiji



UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



PROJECT-
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(相殺)しています。